



組合交渉で要求実現！府人勧通り、全世代の賃上げ実現 通勤手当「最短時間、最小乗り換え経路」で認定へ 非常勤職員の病気休暇 10日を有給化

この間の大教組と府職労でつくる府労組連の交渉で、府当局から最終回答が示され、給与等の引き上げについて、府人事委員会の勧告通りの実施の内容が示されました。

初任者 11,000円

40歳代後半～6,500円

地域手当1%引き上げ

回答では、給与等の引き上げについて、人勧通り、若年層を重点としながらも、全職員を対象に引き上げるとしています。

地域手当も給与の1%引き上げ、期末・勤勉手当(ボーナス)も年間で給与の0.05月分の引き上げとなります。

これらは今年4月にさかのぼっての実施となるため、その分をまとめて「差額支給」が行われますが、その時期は、府議会で決定後に示すとしています。

中高年層の引き上げが、一昨年は一律500円、昨年も3,300円と低く抑えられてきたことから、大きな前進となっています。

通勤経路の認定基準、通勤手当見直し

非常勤講師の病休10日の有給化

常勤講師の給料表2級適用を「研究」

給与以外では、通勤経路の認定で、最短経路以外で最短時間、最初乗り換え経路で認定できるよう見直すとしています。

また自動車バイク等の通勤手当の引き上げ、長距離通勤区分の新設、駐車場代への支給が示されています。

特に、非常勤講師(会計年度任用職員)の病気休暇で無休の90日のうち10日の有給化が示されています。

また、常勤講師の給料表を1級にとどめている点について、より条件の良い教諭の給料表2級を適用する点

府労組連最終回答 主な内容 その1

○府人事委員会勧告どおり実施

【令和7年4月にさかのぼって実施】

① 給料表：初任給と若年層に重点を置いて全職員を対象に引き上げ
初任者：11,000円(月額)
おおよそ40歳代後半以降 一律6,500円(月額)

② 非常勤職員の報酬についても準じて改定

③ 地域手当：

月給与の11.8%→12.8%へ引き上げ(平均で3,360円)

④ 期末・勤勉手当：年間0.05月分引上げ、12/10に支給
年間4.6月分→4.65月分
(再任用職員 年間2.4月→2.45月に)

⑤ 通勤手当：交通用具使用者(自動車バイク等)

10km以上の距離の月額を200円～7,100円の幅で引上げ

【令和8年1月より実施】

⑥ 首席・指導教諭の特2級初号の給料月額引上げ
(「差額支給」日程は議会で条例決定後に示す予定)

10月・府人事委員会勧告 月給与引き上げ

初任給	11,000円
～30代半ば	11,200円～8,600円
～40代半ば	8,500円～6,600円
40歳後半～	一律6,500円

についても、「研究する」と前進的な回答を示しています。
組合の交渉が要求実現に組合加入で、さらに前進を今回の最終回答は、物価高騰や教員不足への対応、子育て、介護抱える教職員にとってはまだまだ十分とは言えません。

しかし、万博・カジノIRに巨額の府民税をつぎ込む中、さらに建設費等の負担の転嫁も懸念される中で、大教組・府職労でつくる府労組連の組合としての取り組み・交渉の中でこそ、昨年になかった前進を実現できました。

さらに要求実現を前進させるためにも、もっと多くの教職員の皆さんに、枚方教組に加入していただいて、一緒に力を合わせて声を上げていくことが重要になっています。



枚方教組紹介パンフレット QRコード



枚方教組紹介加入申し込み QRコード

常勤講師 給料表2級適用問題 教諭と同等の給料表を

大阪府では、教諭の給料表は2級とされ、経験年数等で号数、給料月額が上がり最高号給が427,300円とされています。

一方常勤講師は1級とされ、最高号給の給与月額が327,600円にとどまるなど大きな差があります。常勤講師は、学校現場で教諭と変わらない責任、業務を担い、教育活動を支えています。総務省通知や、改定給特法付帯決議からも、教諭と同等の給料表の適用が求められています。

全教・臨教対策部でも9道都県・9政令市で常勤講師にも2級を適用して教諭と同じ給料表にしていると公表している点からも、講師確保の点からも、大阪でも常勤講師への2級適用が早急に求められます。

9道都県・9政令市で常勤講師を『2級格付』 (全教・臨時教職員対策部)

○北海道、○群馬県、○埼玉県、○東京都、○神奈川県、○静岡県、○愛知県、○広島県、○山口県
○札幌市、○さいたま市、○横浜市、○川崎市、○相模原市、○静岡市、○浜松市、○名古屋市、○広島市

「常勤講師2旧格付けが可能」 総務省、改定給特法付帯決議

□臨時的任用職員については、・・・、退職手当を含め、諸手当については常勤職員と同様に支給する必要があることに留意ください。(総務省通知)

□臨時的任用教員の給与決定について、総務省通知から2級発令とすることが可能であることを任命権者である教育委員会に周知徹底すること。(改定給特法付帯決議)

中学校部活動地域移行 枚方はなぜ進まない！？ 守口市「5時から地域が指導」へ動き始める 門真市「他自治体も注目する先進モデル」

大阪日日新聞 9月11日付「中学校の部活動が地域へ」26年度から本格移行 大阪市や守口市、門真市の現状は？」では、地域移行の大阪の現状をレポート。特に北河内地区の守口市と門真市を取り上げて、地域移行への動きが進められようとする現状を取り上げています。

守口市 休日移行の実証校5校、平日も「5時から地域が指導」へ

守口市では、2021年からスポーツ庁の「休日の地域展開実証事業」に取り組み、現在5校でサッカー卓球など4種目を実施、これ以外にも、教員と保護者が学校で指導する「任意団体による活動」も認められています。

守口市では平日の活動で「標準活動時間」を設定、5時までの1時間とする方針を打ち出しています。

一方、学校現場からは様々な課題を指摘する声も聞かれ、さらなる検討が必要になると考えられます。

門真市 今年度から全中学校で、可能な種目から平日も移行を順次実施

門真市では2023年から部活動指導員の中学校配置に取り組み、2024年には第四中をモデル校に休日移行を実施しはじめ、2025年から全中学校で休日の地域移行を順次拡大し、平日についても可能な種目から移行を実施していくとしています。

運動部はいくつかの中学校に部活動指導員を派遣、吹奏楽部については市民文化会館に市内の部員を集めて指導しているとされます。

特に吹奏楽部については、関西フィルハーモニー管弦楽団や若手演奏家と協力し、休日、平日に市内の中学校対象とした活動をすでに進めているとされます。

枚方市では、なぜできない？

市教委は現場が切実に求める施策の実現こそ力を入れるべき

神戸市に続いて、京都市も2028年9月に学校部活を原則廃止、地域クラブへの移行を打ち出しています。

守口、門真よりはるかに大規模自治体でも進んでいます。枚方市の部活動改革の取り組みに比べて、あまりの違いに、現場の先生たちは驚きと、やり場のない思いに襲われているのではないのでしょうか。

組合のアンケートでは中学校から、軒並み強い言葉で、部活動改革を求める声が出ています

■部活動の外部委託を早期に実現してほしい。特に若年層の意識は「休日出勤をしたくない」となっている。”

■クラブを早く外部委託してほしい。完全に。

■”部活動移行はどうなっているのかと思っています。早く土日のクラブをなしにしてほしいです。”

枚方市は他市に比べて、市教委の人員が多いとされています。その人員、労力を、現場が切実に求めている施策の実現にこそ集中して取り組むことが求められます。

「先進的で、特別な教育の取り組み、市教委からの課題」を次々に現場に求め、「自主的に学校が手をあげて取り組んでいる」としながら、スタンダードや研究指定、〇〇事業などと共に、先進例、成功例のシャワーを注ぐことで、学校・教職員に「プレッシャー」を及ぼし、取り組むことを余儀なくされている面も、現場からの声も出ています。学校現場では、教員不足と相まって、学校を維持することに、教職員は家庭生活も、健康も犠牲にしながら必死に支えています。

市教委は、現場が切実に求める施策の実現こそ力を入れるべきです。

府教育委員会会議 11/10

15年で32校統廃合の「府立高校改革アクションプラン」 門真西高校、懐風館高校の2027年度募集停止を決定

大阪府教育委員会会議は、11月10日に、今後15年で32校の府立高校を統廃合の「府立高校改革アクションプラン」と門真西高校、懐風館高校(羽曳野市)の2027年度募集停止を決定しました。

これは、府立高校を限りなく削減して、私立高校に、高校教育を安上がりに丸投げしようとするもので、地元近くにある府立高校をなくしていくものにほかなりません。

府教委は前提として、「40人学級、学年7クラス」という課題・過密な学校規模を設定しているため、先進国で常識の「30人学級」にすれば、まったく統廃合の必要はありません。

過去20年で40校の府立高校統廃合、

府下の半数自治体が「府立高校0か1」に

大阪では、維新の会の「府立学校条例」によって、3年連続「定員割れ」で自動的に統廃合対象校にされ、次々と府立高校の統廃合が進められた結果、過去20年間で40校の府立高校が統廃合される異常な事態となっています。

また、「定員割れ」が起きやすい都心から離れた周辺自治体が影響を受けやすく、府下の半数に当たる21の自治体で、府立高校が「0」か「1」になってしまっています。

募集停止になれば、門真市も府立高校「1」校に、羽曳野市は府立高校が「0」になってしまいます。

府高教・大阪の高校を守る会」が 「アクションプラン」募集停止撤回求めるオンライン署名よびかけ

教育委員会会議で決定はされましたが、最終的には府議会での審議、議決によって最終的に決定されます。

府高教と「大阪の高校を守る会」では、府議会に向けて、「アクションプラン」門真西、懐風館高校募集停止の撤回を求めるオンライン署名を呼びかけています。

SNSなどで、広く拡散しながら、オンライン署名に取り組みましょう。

「アクションプラン」募集停止撤回求める署名 QR



府立高校が「0」か「1」の自治体

- ①能勢町
- ②豊能町
- ③島本町
- ④摂津市
- ⑤交野市
- ⑥四條畷市
- ⑦大阪狭山市
- ⑧柏原市
- ⑨羽曳野市
- ⑩太子町
- ⑪河南町
- ⑫千早赤阪村
- ⑬河内長野市
- ⑭高石市
- ⑮泉大津市
- ⑯忠岡町
- ⑰田尻町
- ⑱泉南市
- ⑲熊取町
- ⑳岬町
- ㉑阪南市



2025年冬の対市交渉 12月4日(木) 17:30開始 きらら1F 交流ルーム